

動労千葉破壊と合理化に協力する 「再建」策動！！

日刊動労千葉

80.7.9

No. 477

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五八・九（公衆）四三三（二二）七二〇七

われわれは、六月二十八日、七月五日の二回にわたり、「本部」反動分子の「再建千葉地本」デッチ上げ策動を完全に粉碎した。しかし、「本部」反動分子が「動労千葉解体」「千葉地本再建」をあくまでも策動する以上、われわれは、この二回にわたる諸戦の勝利を全組合員のものとし、土屋・嶋田らの裏切り分子糾弾ノ「再建」策動粉碎ノ組織強化をかちとり、乗務員運用合理化・検修合理化阻止、国鉄三十五万人体制粉碎にむけ一層奮闘しよう。

7・5「再建」策動粉碎勝利の要因は何か！

われわれは、「全国大会までの千葉地本再建」を必死で策動する「本部」反動分子が設定した六月二十八日、七月五日の二回にわたる「結成大会」を完全に粉碎した。この勝利の要因は何か。

第一は、六月十九日開催した組織部長会議での意志統一と確認をもって反処分第一波闘争を受け継ぎ、六月二十三日以降、全支部・職場から「千葉地本再建」策動粉碎の闘いに総決起したこと。

第二は、千葉「再建」策動が、「四・一五津田沼」を利用した大量不当処分攻撃とも連動した国鉄当局及び「本部」反動分子一体となった動労千葉解体ノ組織破壊攻撃そのものであることをしっかりと見すえて闘いに決起したこと。

第三は、大衆的規模での糾弾・説得・追及行動をもって正義の闘いに総決起したわれわれに圧倒された「本部」反動分子の側が文字通り裏切り性と反動性ゆえに、革マル分子と短期転勤者の間に完全な内部分裂が生じ、ぐらぐらとなってしまうこと。

こうして、二回にわたる「結成大会」ノ「再建」策動が完全に粉碎されたのである。

動労千葉破壊と国鉄再建ノ35万人体制攻撃に屈服・協力を目的とした「再建」策動！

また、「本部」反動分子と一体となって動労千

葉破壊をねらう土屋粹や嶋田誠など裏切り分子は、いかなる目的をもって「再建千葉地本」を策動しているのか。

第一に、「千葉地本再建」が全国二十九地本の一つとして策動されているのではなく、動労千葉破壊のみを目的としていること。

このことは、「四・一五津田沼」ノ嚴重処分要請ノ不当処分攻撃ノ「再建」策動を見ただけでも明らかであることである。

第二に、貨物安定宣言ノ国鉄三十五万人体制攻撃に屈服し、乗務員運用合理化・検修合理化に率先協力していることからも明らか。なように、「再建」策動は、職場からの抵抗を圧殺し、当局に国鉄労働者を売り渡す道につながること。

このように「本部」反動分子の「再建」策動と対決することは、文字通り自分達の職場と生活を守る闘いとなっているのである。

「7・5」の勝利を打ち固め、組織強化をかちとろう！

七・五「再建」策動粉碎の闘いは、完全勝利をもって、津田沼・佐倉両支部を中心に全支部が一層自信と確信を深めている。

われわれは、この勝利した力をもって津田沼特別班解体、佐倉支部強化、銚子支部結成にむけ、一層奮闘しよう。



ジェットの拠点佐倉支部は、今力強く前進している（7月5日）



「再建」デッチ上げ粉碎！佐倉機関区での総決起集会であいさつする反対同盟北原事務局長